

地域医療安全推進センター主催 研修

■介護に関わる医療安全研修

日程●10月20日(日)

会場●海運ビル(東京都千代田区)

プログラム●「介護現場におけるインシデント・アクシデント事例の現状評価と医療安全」
／「介護現場における医療安全の取り組みと課題」
／「体験から学ぶ! 未然防止の考え方とリスクアセスメントトレーニング」

対象●介護施設に勤務する職員、在宅介護に関わる職員、介護に関わる医療安全に関心のある方など

参加費●1万円

申込締切●10月4日(金)

定員●30名

■部署リスクマネジャー育成研修

日程●10月31日(水)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

プログラム●「部署リスクマネジャーの活動と期待されること」
／「部署リスクマネジャーの責務」
／「医療安全管理者が部署リスクマネジャーに期待する役割」
／「具体的事例から考えるヒューマンエラーと医療安全」
／「体験から学ぶリスクアセスメントトレーニングの意義」

対象●現在、部署・部門のリスクマネジャーの方、今後、部署・部門のリスクマネジャーになる予定の方など

参加費●1万6000円

申込締切●10月16日(水)

定員●50名

■RCA(根本原因分析法)実践研修Ⅱ

日程●11月1日(金)

会場●都道府県会館

プログラム●「RCAの概要と実際」
／「RCA 演習」
／「RCA 総括」

対象●RCAの実践力を身につけたい方、施設においてRCAの導入を検討されている方など

参加費●2万円

申込締切●10月17日(木)

定員●40名

■医療安全管理者エキスパート研修

日程●11月28日(木)・29日(金)

会場●都道府県会館

プログラム●「医療安全管理者に求められる医療対話推進者との連携」
／「安全文化の醸成を目指す! 職員個々の主体的参加と能力

の“結集”」
／「施設管理からみた療養環境のリスクマネジメント」
／「体験から学ぶ参加型医療安全研修の企画」
／「今後の方向性を明らかにする“現状評価”」

対象●現在、医療安全管理者として業務に就き、医療安全管理者養成研修を修了している方

参加費●3万円

申込締切●11月13日(水)

定員●40名

【以下共通】

申込・問い合わせ先●地域医療安全推進センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館15階 公益社団法人地域医療振興協会内

TEL 03-5212-9152

E-mail iryou-anzen@jadecom.or.jp

URL <http://www.jadecom.or.jp/iryou-anzen/guide/index.php>

医療・病院管理研究協会研修

■看護管理研修 看護職の確保・育成・定着化セミナー

日程●10月5日(土)

プログラム●「当院における看護職確保のプロジェクトの実践報告」熊谷雅美(済生会横浜市東部病院副院長兼看護部長)
／「看護職を活かす看護実践環境のあり方」緒方泰子(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授)
／「看護師採用を成功に導く広報戦略と管理職教育」石田秀朗(奈良学園キャリア開発センター所長)
／「ワークライフバランスと人事評価システム——看護マネジメント参加者全員のWINを目指して」竹中君夫(明和会医療福祉センター法人本部主幹)

■病院管理研修 医療機関における未収金の課題と対策

日程●10月11日(金)

プログラム●「当院の未収金対策」田中長文(杏林大学医学部付属病院医事課外来課長)
／「病院未収金の課題と対策——当院の事例を踏まえ」宮内栄治(国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院事務次長兼会計課長)
／「避けては通れない未収金問題——未然防止対策の観点から」石飛隆敏(製鉄記念八幡病院医事部医事課長)
／「未収金との付き合い方」館野完(館野法律事務所所長・弁護士)

■病院管理・事務部長研修

日程●10月12日(土)

プログラム●「医療情報の2次利用について」森川富昭(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、環境情報学部准教授)
／「次回2014年改定と2025年に向けた中・長期的な病院経営戦略」工藤高(MMオフィス代表取締役)
／「活気ある職場作りの秘訣」小路美喜子(東京慈恵会総合医学研究センター医療教育部主任研究員)
／「病院の人事労務管理のポイント」浅見浩(浅見社会保険労務士事務所所長)

【以下共通】

会場●ホギメディカル本社ビルB1(東京都港区)

問い合わせ●医療・病院管理研究協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル4F

TEL・FAX 03-3352-2575

E-mail byokan1298@eagle.ocn.ne.jp

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~byokan21/>

転倒予防医学研究会 第10回研究集会

日程●10月6日(日)

会場●東京大学伊藤国際学術研究センター・赤門総合研究棟(東京都文京区)

プログラム●特別講演「光の力」石井幹子(照明デザイナー)
／シンポジウム「転倒事故はどこまで施設、現場の責任か」鳥羽研二(国立長寿医療研究センター病院長)、杉山良子(元・武蔵野赤十字病院医療安全推進室専従リスクマネージャー)、川村治子(杏林大学保健学部教授)、小島剛(東京海上日動火災保険株式会社)、望月浩一郎(虎ノ門協同法律事務所)、田辺功(株式会社ココノッツ)
／パネルディスカッション「現在そして将来、転倒予防はどこまでできるか——転倒予防10年のエビデンスとこれからの発展」山本智章(新潟リハビリテーション病院院長)、金憲経(東京都健康長寿医療センター東京都老人総合研究所研究副部長)、泉キヨ子(帝京科学大学医療科学部看護学科教授)、森田光生(慶友整形外科病院転倒骨折予防医学センター室長)、島田裕之(国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究所センター自立支援システム開発室室長)
／ワークショップ「転倒予防対策グッズの新たな展開」

定員●700名

参加費●会員6000円、非会員7000円、学生2000円

申込方法●申込用紙に必要事項を記入の上、事務局までFAX、または①参加者氏名(フリガナ)②所属先・資格、③会員/非会員の明記、④参加票送付先の郵便番号・住所(自宅/所属先の明記)・電話番号・FAX 番号を記入の上、事務局宛にE-mail、またはハガキ送付

申込・問い合わせ●事務局

〒104-0045 東京都中央区築地1-9-4 ちとせビル3F

TEL・FAX 03-3544-6112

E-mail tentou@ellesnet.co.jp

URL <http://www.tentouyobou.jp/>

聖ルカ・ライフサイエンス研究所 平成26年度研究・海外派遣助成

申込締切●10月15日(火)

助成対象●①医学および看護の臨床教育に関する研究、②臨床疫学、医療の質並びに病院管理に関する研究、予防医学に関する研究、④看護に関する研究

■研究助成

助成対象●所属の如何を問わず、上記研究に従事する個人またはグループ

助成金額●50~100万円/件

募集件数●20件程度

■若手研究者の海外派遣助成

助成対象●所属の如何を問わず、上記助成の趣旨に合う海外研修(2014年4月1日~2015年3月31日の間に、期間1年以上の海外留学を開始)を希望する個人(2014年4月1日現在満40歳未満の者で、申請書提出時点でTOEFL80点以上、またはTOEIC700点以上)

助成金額●300万円/人

募集件数●3件

問い合わせ●聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

TEL 03-5550-4101(内線6380)

E-mail sllsi@luke.or.jp

URL <https://sllsi.or.jp/subsidy>

平成25年度日本赤十字看護大学 フロンティア・セミナー

日程●10月26日(土)

会場●日本赤十字看護大学広尾ホール(東京都渋谷区)

テーマ●シームレスな人材育成をデザインする——新人看護師をめぐる大学と病院のパートナーシップ

プログラム●基調講演「大学と病院のパートナーシップによる人材育成」谷正司(学校法人金沢工業大学常任理事)/シンポジウム「新人看護師育成に向けた大学と病院のパートナーシップ」小野和代(東京医科歯科大学医学部付属病院副看護部長)、齋藤やよい(東京医科歯科大学医学部保健衛生学科教授)、別府千恵(北里大学病院看護部長)、中山栄純(北里大学看護学部基礎看護学准教授)

参加費●1000円

申込締切●10月18日(金)

申込方法●氏名、所属先名を記入の上、下記までE-mail、またはFAX送信してください。

申込・問い合わせ●日本赤十字看護大学 看護実践・教育・研究フロンティアセンター

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

TEL 03-3409-0875

FAX 03-3409-0589

E-mail frontier-seminar@redcross.ac.jp

公開シンポジウム 専門職連携教育(IPE)に携わる 人材の持続的育成を考える

日程●10月12日(土)13時

会場●三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区)

プログラム●教育講演「『経験学習』と人材育成」松尾睦(北海道大学大学院経済学研究科)/パネルディスカッション「IPEの実践現場からIPEに携わる人材育成の取り組みと課題、将来への展望」新井利民(埼玉県立大学保健医療福祉学部)、木内祐二(昭和大学薬学部薬学教育推進センター)、高橋平徳(千葉大学大学院看護学研究科)/情報交換会「①IPEのプログラムの運営・実施体制について」「②IPEに関わる人材育成について」「③IPE実施等に関わる大学間連携について」

参加費●無料

問い合わせ●千葉大学大学院看護学研究科専門職連携教育FDプロジェクト内 公開シンポジウム事務局(担当:小河)

E-mail inohana-ipe@office.chiba-u.jp

URL <https://moodle01.m.chiba-u.jp/ipe/>

第5回公開シンポジウム

テーマ●ナラティブって? 看護実践における応用——“私”の看護実践を「語る-きく」場の創造

日程●10月27日(日)

会場●北松中央病院(長崎県佐世保市)

定員●50名(申し込み順)

参加費●無料

話題提供●紙野雪香(大阪府立大学看護学部准教授)、山根智紗、吉井輝子

コメント●森岡正芳(神戸大学人間発達環境学研究科教授)、松月みどり(日本看護協会常任理事)

進行●福田敦子(神戸大学大学院保健学研究科講師)、大野由美子(大阪大学医学部附属病院がん看護専門看護師)

主催●日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C「ナラティブ・アプローチによる中堅看護師のキャリア形成支援プログラムの開発」(研究代表者:紙野雪香)

申込・問い合わせ●地方独立行政法人北松中央病院看護部長 前田さとみ

〒859-6131 長崎県佐世保市江迎町赤坂299

TEL 0956-65-3101(代表)

E-mail s.maeda@hokusho.dr-clinic.jp

第10回日本周産期 メンタルヘルス研究会学術集会

日程●学術集会11月9日(土)、研修会11月10日(日)

会場●日本赤十字看護大学201講義室(東京都渋谷区)

テーマ●現代女性の妊娠から子育てとメンタルヘルス

プログラム●

11月9日:一般演題/特別講演「就労女性のこころとからだ」荒木葉子(荒木労働衛生コンサルタント事務所所長)/教育講演「女性の妊孕性と不妊治療の現状と問題点」辰巳賢一(梅ヶ丘産婦人科院長)/シンポジウム「リプロダクティブエイジ女性のメンタルヘルス支援を考える」①「妊娠・結婚を考える女性のメンタルヘルス」佐々木司(東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野教授)、②「高年妊娠女性たちの声に耳を傾けて」河合蘭(出産ジャーナリスト)、③「妊娠・出産期女性のメンタルヘルスと支援」永田雅子(名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター准教授)、④「産後ケアセンター桜新町の利用者の背景とケア」萩原玲子(武蔵野大学附属産後ケアセンター桜新町センター長)

11月10日:「若い女性/妊娠期にある女性の摂食障害」西園マーハ(白梅学園大学子ども学部発達臨床学科教授)

参加費●(学術集会)会員3000円、臨時会員

4000 円, 学部・大学院生 1000 円, 〈研修会〉
会員 3000 円, 臨時会員 4000 円
申込・問い合わせ●事務局(安川通子)
FAX 059-231-9049
E-mail mental-3@hac.mie-u.ac.jp
URL <http://pmh.jp/index.html>

第 4 回感染管理看護研究会

日程●11 月 16 日(土)
会場●三重県立看護大学(三重県津市)
テーマ●看護でつなげてひろげていく感染管理
プログラム●教育講演「感染管理を担う看護職に求められる連携力と看護力」田中彰子(山梨県立大学)／事例セッション「感染管理看護におけるチーム医療を見つめ直す」脇坂浩(三重県立看護大学), 石井真(中部大学), 小菅育恵(三重県立看護大学), 杉野健士郎(三重県立看護大学), 森山美香(三重県立看護大学), 野崎希(三重県立看護大学)
参加費●会員 2000 円, 非会員 3000 円
問い合わせ●事務局

〒514-0116 三重県津市夢が丘 1-1-1 三重県立看護大学地域交流センター認定看護師教育課程「感染管理」事務室
TEL・FAX 059-2335-626
E-mail kansen@mcn.ac.jp

第 3 回介護甲子園

日程●11 月 17 日(日)
会場●日比谷公会堂(東京都千代田区)
※7 月 29 日よりネット投票受付中
問い合わせ●介護甲子園事務局
〒110-0014 東京都台東区北上野 2-6-14
(株)いきいきらいふ内
TEL 03-5827-7788
FAX 03-5827-7789
URL <http://www.j-care.or.jp>

第 19 回日本精神保健社会学会 学術大会・総会

日程●12 月 1 日(日)
会場●筑波大学東京キャンパス(東京都文京区)

テーマ●見通しの立たない時代のメンタルヘルス

プログラム●一般演題／学会総会／シンポジウム「見通しの立たない時代のメンタルヘルス—自己探求と愛情の絆の時代へ」栗原壮一郎(オリエンタル労働衛生協会メンタルヘルスマネジメント・サポートセンター所長), 武藤清栄(東京メンタルヘルス所長), 殿山希(筑波技術大学保健科学部保健学科鍼灸学専攻准教授)

参加費●一般 4000 円, 会員 3000 円, 学生 2000 円(要学生証提示)

※シンポジウムのみ参加 2000 円

※懇親会 4000 円別途

申込・問い合わせ●事務局

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-39-8

ローズベイ池袋ビル 3F TMA 内

TEL 03-3986-3220

FAX 03-3986-3240

E-mail info@jamhs.org

URL <http://www.jamhs.org/>